

# 令和7年 第1回恵庭市文化財保護委員会 資料に対する 各委員からの質問・意見及び事務局よりの回答

(恵庭市文化財保護委員会内容)

開催年月日： 令和7年7月29日

出席者： 内田委員、高橋委員、土屋委員、伊藤委員、久瀧委員、土岐委員

(事務局) 狩野教育部長、高野郷土資料館長

大林総務担当主査、長町史跡・重要文化財担当主査

鈴木埋蔵文化財担当主査、太田主任主事

1. 開 会
2. 委嘱状交付
3. 委員長・副委員長の選任

3. 教育部長挨拶  
狩野教育部長挨拶

## 4. 議 題

### (1)委員長・副委員長の選任

委員長に内田氏、副委員長に高橋氏を選任

### (2)令和7年度主な事業計画について

事務局	令和7年度主な事業計画について<資料説明>
質 疑	
A委員	資料収集基準についてはどのようになっていますか。
事務局	明確な基準はなく内部的なものしかない。収蔵スペースが限られているので同じ年代のものは頂かないようにしています。
A委員	鈴木吾郎さんの彫刻について、市ではどこの部署でどのように管理していますか。

- 事務局 郷土資料館ではありませんが、教育委員会の社会教育課で鈴木吾郎先生の彫刻等の寄贈をうけ、鈴木吾郎先生とお話をし、年1回程度の企画展等を行うことで了解をうけております。また、まだまだ作品があるのでこれから先収蔵スペースを含め検討して行きます。 今後は、文化協会、美術協会と話をし、鈴木吾郎先生レベルの寄贈があった場合は要検討する。
- B委員 帯広では内規で、メジャー、相当の賞をいただいた方など基準を設けていました。鈴木吾郎さんの作品はどこにあるのですか。
- 事務局 恵庭公園、恵庭大橋、図書館などにありますので、各所管で維持管理をしています。
- B委員 前にいた帯広では、百年記念館で一元管理しており、貸出等をおこなっていました。
- B委員 リファレンスはどれくらいありますか。
- 事務局 20件くらいです。
- B委員 帯広では、年間でアイヌ関係で60から80件で自然関係で200件を超えていた、職員で処理しており大変だった。
- C委員 リファレンスがあると便利である。
- 事務局 令和7年度埋蔵文化財の保護について<資料説明>
- C委員 アイヌ政策推進交付金事業がこれからどのくらい続くのか。
- 事務局 推進交付金事業を開始したのは令和2年度からで令和5年度までの計画でしたが引続き令和6年度から令和10年度まで継続で実施予定です。
- B委員 他にありませんので令和7年度第1回文化財保護委員会を終了いたします。